



## CEO 交代ーボブ・ダッドリーからバーナード・ルーニーへ

2019 年 10 月 4 日

BP 取締役会は、本日、40 年にわたり BP で勤務し、9 年以上にわたり BP を率いてきたボブ・ダッドリー（64）が、2020 年 2 月 4 日の 2019 年度業績発表後にグループ最高経営責任者（以下、CEO）及び取締役会を退任、2020 年 3 月 31 日をもって退職することを発表いたしました。

ダッドリーの後任には、現在上流部門の最高責任者を務めるバーナード・ルーニー（49）が就任し、2020 年 2 月 5 日付けで BP 取締役会の一員となることも併せて発表いたします。ルーニーは 2 月 5 日まで引き続き現在の職責を全う致します。

発表を受け、BP 会長ヘルグ・ルンドは次のように述べています。「ボブはキャリアのすべてをエネルギー業界にささげてきました。BP 史上おそらく最も困難な時期に CEO に就任した彼は、メキシコ湾原油流出事故からの立て直しを任せられ、より強固で安全な企業へと BP を再建し、業界トップグループへの返り咲きに貢献しました。BP だけでなく、業界全体も、彼に大変感謝しています」。

後継者ルーニーの就任について、ルンドはこう述べています。「エネルギー転換の時代をどのように進んでいくべきか、BP がその道筋を描くにあたり、今回のトップ交代は誠に時宜を得ています。バーナードはこの大転換期を生き抜くための舵取りに必要な資質の全てを備えています。エネルギー分野で豊富な経験を有する彼は、安全・操業・財務の各方面で一貫して優れた実績を挙げ、社内において昇進を続けてきました。目的に向かう情熱、人に対する熱い情熱を持ち、エネルギー転換を経て繁栄するために BP は何を為すべきかはっきりと分かっているルーニーは、進歩的な真のリーダーです」。

ボブ・ダッドリーは次のように話しています。「BP で勤め上げられたこと、この 40 年間エネルギー業界で働けたことを大変光栄に思います。BP の社内外を問わず、真剣に仕事に打ち込む方々が世界中に大勢いますが、私はそうした方々と共に働いてきました。世界にエネルギーを供給するために共に成し遂げてきた成果のすべてを非常に誇りに思っています。バーナードは BP を率いる次期リーダーとして素晴らしい人物です。BP とエネルギー業界のことを誰よりも熟知しているが、創造性に富み、従来のやり方に縛られない人物です。低炭素社会へ移行する時代を、慎重に BP を率いて切り抜けていけると確信しています」。

バーナード・ルーニーは述べています。「ボブと共に働くことができたことは大きな喜びであり、ボブの後任として CEO に任命されたことを光栄に思います。取締役会から委ねられる責任に身の引き締まる思いですが、CEO の任務や BP の将来を思うと期待で胸が高鳴ります。当社には素晴らしい人材、膨大な資産、企業活動の指針となる基本的価値観がありますが、何より、私たちには『向上したい』という願望があります。よりクリーンで優れたエネルギーを求める社会の需要に応えるにあたり、この願望を糧と

し、ボブが築いてきた強固な基盤をよりどころにして今後を歩んでいけることを楽しみにしています」。

取締役会は、CEO の交代と併せて、現在グループ副 CEO を務めるラマー・マッケイがチーフ・トランジション・オフィサーの就任に同意したこともお知らせいたします。新たに設けられたこの役職において、マッケイは経営トップの秩序ある交代が十全に実施されるよう、会長と新 CEO を補佐することになります。マッケイはグループ副 CEO の任を解かれ、直ちにチーフ・トランジション・オフィサーに就任します。

これらの人事は、社内外の候補者を幅広く検討するなど、人材の選任を総合的かつ慎重に行った結果です。選任作業は、取締役会の任命・ガバナンス委員会の作業部会としてヘルゲ・ルンド会長、サー・イアン・デイビス上級独立取締役、ポーラ・ロスプット・レイノルズ報酬委員会委員長が中心となって行いました。

#### ご参考：

- 本発表にはバーナード・ルーニーの略歴を添付しています。[\(こちらからどうぞ\)](#)
- 弊社は、ルーニーの任命について、上場規則 9.6.13R の要件に基づいて開示すべき情報はこれ以上ないことを確認しています。
- ダッドリーの退職及びルーニーの報酬に関する取り決めの詳細は以下の通りです。

#### ボブ・ダッドリーの退職に関する取決め

ボブ・ダッドリーの役務契約は 12 カ月間の事前通知期間を定めていますが、実際の通知期間は 2019 年 10 月 4 日に始まりました。ダッドリーは 2020 年 2 月 4 日に取締役会を退任し、現行の契約条件の定めにより 2020 年 3 月 31 日まで BP の社員としてとどまります。ダッドリーは、事前通知期間の不足により適用される解雇予告手当の受給権を放棄しています。

ダッドリーは 2019 年度の年次賞与を通常通り受給する資格があります。この賞与の総額は『2019 年取締役報酬報告書 (2019 Directors' Remuneration Report)』に明記され、方針に則り、50%は株式での繰り延べ払いとなります。ダッドリーは 2020 年の勤務期間に関する年次賞与の受給権をすべて放棄しています。

BP の役員報奨制度 (Executive Directors' Incentive Plan、EDIP) に基づくダッドリーの株式報酬部分は、EDIP の円満退職者の条項により維持されます。株式受給権に関する情報は 2019 年、2020 年、2021 年の取締役報酬報告書の中で更新されます。

## バーナード・ルーニーの報酬に関する取決め

BP の給与規定に沿い、バーナード・ルーニーの報酬はグループの長期的利益に資するように設定されています。ルーニーの報酬の主な要素には以下が含まれます。

年俸 130 万ポンド

賞与の機会、繰延賞与 (bonus deferral) 及び業績株式報酬 (performance shares) に関する条項は、いずれも、株主に承認された BP の 2017 年給与規定に従っています。

ルーニーは年金に代えて基本給の 15%相当分を現金で受け取ることができます。繰延年金の計算において、ルーニーの現在の俸給が基本給の上限となりますが、一方、年金支給に係る勤続年数は 2011 年に既に上限が設定されています。

詳しくは以下にお問い合わせください。

BP press office, London: [bppress@bp.com](mailto:bppress@bp.com), +44 (0) 20 7496 4076

## 記述に関する注意事項

1995 年米国私募証券訴訟改革法 (PSLRA) の免責条項を活用するため、BP は以下の将来を視野に入れた記述に関する注意事項を記載しています。本発表には、BP の財務状況、オペレーションや事業の結果、並びにこうした項目に関する BP の計画や目的と関連する将来を視野に入れた記述、つまり過去の出来事や状況ではなく将来に関連する記述が含まれています。将来を視野に入れた記述であるかどうかは、常にというわけではありませんが、概ね以下のような言葉づかいで見分けることができます。「の予定である」、「を期待する」、「と考えられる」、「目指している」、「はずである」、「場合がある」、「目標」、「と見込まれる」、「意向である」、「と考える」、「を予期する」、「を計画している」、「と見ている」やその他類似する表現です。実際の結果は、当社の最新版 BP 年次会計報告書 2018 (Annual Report and Form20-F) の「Risk factors」に記載のリスク要因のほか、当社が発表する最新の公式報告書に記載のリスク要因など、さまざまな要因次第で、将来を視野に入れた記述で表明された内容と異なってくる可能性があります。

米国証券取引委員会 (SEC) に提出済みの最新版 BP 年次会計報告書 2018 (Annual Report and Form20-F) やその他定期提出文書は、当社のウェブサイト ([www.bp.com](http://www.bp.com)) でご覧いただけます。また、SEC に電話して (1-800-SEC-0330) 入手することや、SEC のウェブサイト ([www.sec.gov](http://www.sec.gov)) でご覧いただくことも可能です。